11月15･16日の文化祭に向けて

各クラス作業開始しています
全員の力を合わせて思い出を
作りましょう

航路

平成25年度　1学年通信
第27号
発行　大阪府立堺工科高校
072-241-1401
1年担任団
学年主任　下出豊勝

系別授業スタート

本日前期末成績通知しました

後期がスタートし、少し気分転換しながら過ごしている人が多いと思います。

先週から後期の授業が始まり、系別授業により、工業技術基礎ではそれぞれの専門技術が内容として多く入ってきました。今までの基礎と違って専門の部分がよりいっそう難しくなりそうです。

授業態度や遅刻、欠席、身なり等を改善し、高校生らしくまた、将来のプラスになるように頑張ってください。

後期の目標は進級と努力を目指してがんばって下さい。

前期が先日終了しました。

自分の半年間を振り返ってみてください。

4月、高校生活をどのように過ごすことができるのか。どんなことがあるのかを考えた人や、全く何も考えないで入学した人などいろいろです。

いずれにしても小学校、中学校とは違い、高校ではすべてを受け身の生活ではまったく成長しません。指示待ち人間にならないで下さい。

周りの流れに乗って過ごした人や、自分から進んで学習や資格、クラブに頑張った人などそれぞれです。しかし、今、前期を振り返れば自分にプラスになった期間だったでしょうか。今後の学習の基礎になる部分が多くあったと思います。

基本は努力としんぼう

また、学年の目標である『基本的生活習慣の確立』について、全体が少しでも達成できるように頑張っていくことも進めましたが、なかなか全員が同じ方向を向くことができなかった様です。

今後の目標を考えるには、今までの自分を振り返ることですが、具体的に先ず学校を中心に考え、遅刻の多い人は少なくするために努力をするために家を早く出るのが肝心。遅刻になりそうであれば走るなど。また、授業中の態度ではしゃべる、寝る、携帯電話等の使用など、全体的には自分が努力するだけで良い方向に向いていく。目標は努力すること。

いろいろな面で先生方から指導される大部分は努力不足からの問題があるからだと思います。

他の人に迷惑をかけていないから良いと言う考えは少し違うような気がする。

もっと自分を成長させることを考えてください。

基礎学力向上へ

四月から始まった基礎学力向上プランの内容で、定期考査の時間内に基礎学力、計算力を中心にテストを実施しています。

今回のテストで60点以下の生徒を対象に、今週補習を展開しています。学年で45％の生徒が対象になりました。基本的に努力をしないからだと思います。月曜日から再テストを実施し、80点を取れない生徒を対象に特別補習を実施しています。

内容的には四則計算が中心ですが、計算の法則的なことが理解していないから答えが出てこないのだと思います。

進路を考えるときに基礎学力が必ず必要です。

今後漢字検定に向かって、漢字の基礎についても学習していきます。

自分の基礎学力は小学生？中学生？それとも高校生 ……

一斉遅刻指導

9月より実施された遅刻強化指導(1ヵ月5回以上)で9月分の指導を今月はじめに実施しました。

1年生の対象者は6名でした。

この指導は毎月実施されます。

今月もあと1週間になりましたが、遅刻数が減らず、どんどん指導対象者が増えてきました。

指導があるから遅刻をしない、ということではなく、遅刻がなぜ悪いのかを理解しなければなりません。

生徒は5回目の遅刻になりそうなときに、欠席をすることがありますので、ご家庭においてご注意ください。欠席すれば大きく学習に影響します。

既に4回になっている人は、あと1回遅刻をすれば指導対象として保護者の方に学校へ来てもらうことになります。また、担任から遅刻しないように連絡をするようにしています。

遅刻をすることで勉強に支障になる場合があり、授業が中断することでまわりに影響を与えることになります。

10月分の指導日

11月5日(火)3時30分から

あと1回の生徒の保護者の方は時間をあけるようにしてください。来校していただく可能性があります

再登校指導

身だしなみにより人は評価されることが多い。外見より中身で勝負という言葉もよく聞く。

3年生は9月から始まった就職戦線において、苦労していることが多い。もちろん学校では制服・頭髪や挨拶などを指導して企業が実施する就職試験に臨んでいるが、現在でも4月からの進路先が決まっていない人は非常に多い。この話は別の機会にすることにします。

さて、本校ではこの身だしなみ指導として『再登校指導』のシステムをとっていて、今日と明日がその日になっています。

冬の制服を着用することに今週からなっていますが、まだ着用が100％になっていません。

今回ブレザー・ネクタイ等の未着用者に対して着用して登校する指導として再登校の指導をしています。

この時間帯は遅刻等には関係ないよう、特別指導として実施しています。必ず着用するようにご指導ください。なお、再度の登校について事故の無いよう、また、再度の登校時間等を丁寧に指導していますので、ご協力ご理解をお願いします

親の労働聞き書き

働くことについて

働くということについて、人によって思うことはそれぞれでしょう。

たとえば自分のために働くのか、他人のために働くのか、今のために働くのか、将来のために働くのか、働くことの意味合いはまさに十人十色です。

最近の若い人たちは仕事について早々にやめてしまう人が増えているそうです。つまり、仕事はお金を手に入れる手段としかみず、そこに意味や夢、目標を見出せない人が増えているということです。

ある新聞記事で、ものが豊かになると心が貧しくなると述べているものを読み、考えさせられたことがあります。今は技術革新や運送ルートの整備などにより比較するまでもなく昔より簡単に物が手に入ります。一生懸命働いたお金でものを買う、その喜びを知る機会を失われつつありましょう　…中略…。

理想論であれ、みなが自分の仕事にもてればいい名と思います。僕も将来自分で自分に他人に誇れるような仕事をしたいと思います。

【夏休みの学年課題から原文】